

皆さん、お休みはどのように過ごされましたでしょうか。お盆休みという捉え方は少し変わりつつありますでしょうか。

私ごとですが、13日のお墓参りは雨の中、傘さしてでした。お盆はお天気がよいはずなのにとの思いでしたが、昨年13日にも台風がきて大雨、翌日の14日に延期したことを思い出しました。今年も同じ天候だったと…。ついでに思い出しました。お恥ずかしいことですが、昨年のお盆前に左肘を強く打って、簡単に骨折し、入院・手術したことです。リハビリを絶え間なく続け、いまはすっかり元に戻って両手が使えるように、運転もできて、うそのようです。もとの戻ると、人って忘れがちになりますね。この暑さと一緒に、十分に気をつけて、また歩んでいきたいものです。宜しく願いいたします。(菅野)

目次

- 1 【保健師コラム】沖縄産業保健総合支援センター
- 2 令和5年8月15日付大臣会見概要
- 3 関連情報

- 1 【保健師コラム】沖縄産業保健総合支援センター (*ご快諾有難うございました)

<https://www.okinawas.johas.go.jp/>

◆-----◆
はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

久しぶりに大きな台風が沖縄に直撃しましたね。皆さまのところに被害は無かったですでしょうか。台風当たり年のようですが、今後も被害が大きくなることを祈るばかりです。

突然ですが、皆さんは「幸福経営」という言葉をご存知ですか？

「健康経営??」は耳馴染みがある方も多いと思いますが、「幸福経営って??」という感じですね。

琉球大学国際地域創造学部の大角玉樹教授は、「幸福経営は無限の資源」として企業経営で組織を動かすためには、従前のような従業員のリストラ、コストカットなどのネガティブな考え方ではなく、持続可能なポジティブな考え方を持つことが組織開発に寄与し、さらには地域の健康水準も高めていくという「幸福経営」の考え方を提唱しています。幸福学やポジティブ心理学が基本となった考え方です。ちなみに日本の幸福学の権威、慶應義塾大学の前野隆司先生が「幸福診断度」という自分の幸福度を客観的にテストするサービスも開発されていますよ。

<https://well-being-circle.com/>

いったい「幸福」が会社の業績や、売りに上げにどう関係があるのかと疑問に思う方もいるかと思いますが、主観的幸福度の高い人はそうでない人に比べて、創造性が3倍、生産性が31%、売り上げが37%高いという研究結果が出ているそうです〈ポジティブ心理学：エド・ディーナーの研究より〉。組織の資源として物質的要素だけでなく、健康もそ

うですし人間の心の状態が幸せであることが重要な経営資源になることを表していると大角先生は話しています。そして人が幸福を感じるものには「地位財」と「非地位財」に分けることが出来るそうです。「地位財」とは他人との比較で満足する、例えば「モノ・お金、地位」など。「非地位財」は相対比較ではないもの、例えば「健康、こころ、人間関係、愛情」などです。

地位財の幸福には限りがありますが、非地位財の幸福には限りが無いので幸福が長続きするともいわれています。企業の経営においても従業員の「非地位財」的な幸福をより豊かにしていくというコンセプトを経営手法に取り入れることをお勧めされていました。健康もちろん大切ですが「幸福」という言葉には、より身体と心の両方が良い状態であること（Happiness）を表している様にも思います。さらには「幸福」と言う言葉を思い浮かべると、自然と笑顔になってきませんか？

この「幸福経営」は、企業の経営者はもちろん、産業保健スタッフにおいてもよりポジティブな姿勢で職場の健康づくりに取り組むために大切な考え方になるのではないのでしょうか。

今年度は、企業の産業保健スタッフや健康づくりに関わる人たちを対象に、このポジティブな考え方を基にしたセミナーを企画しております！詳細が決まりましたら、またお知らせいたしますね。

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)

*「幸福経営」～温かい、いい響きを感じますね。

健康経営の言葉は浸透してきていますが、実際なかなかの現状、不足を覚えることも、どうでしょうか。視点を変えて、働く方々の求める幸福、働きの中で見出していくことが、個々人のポジティブ思考へつながっていく。皆がここを目指す。幸福のイメージも様々ですが、ほっと感じるところでの働きができることっていいなあ…と。(菅野)

2 令和5年8月15日付大臣会見概要

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7SQmk04Sq4-SOjBY>

<一部分の抜粋>

記者：現在の感染状況を踏まえた10月以降の取り扱いについて検討状況を教えてください。

大臣：他の疾病との公平性も考慮しつつ、急激な負担増を回避するため、新型コロナの治療薬への支援を含めて、公費支援の一部を、期限を区切って継続することといたしました

3 関連情報

◇ 協会けんぽ News ～健康企業宣言をはじめてみませんか～

└...┘

健康企業宣言とは、事業所全体で健康づくりに取り組み、健康優良企業を目指して宣言することです。宣言内容に取り組むことで、生産性の向上や労働災害のリスクを減少させ、企業イメージの向上にもつながります。

協会けんぽは健康企業宣言をした事業所へのサポートを行っています。この機会に健康企業宣言をして、従業員の健康を意識されてみてはいかがでしょうか。

▼健康企業宣言について詳しくはこちら

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/tokyo/cat070/collabo271210-1/>

○健康企業宣言チェックシート

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/~media/Files/tokyo/kennkoukigyousemngenn/20200929013.pdf>

○協会けんぽのサポートについて詳しくはこちら

<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/shibu/tokyo/cat070/collabo20200129500/>

健康企業宣言は全国健康保険協会の登録商標です。

▼「社会保険新報」のページはこちら（東京社会保険協会ホームページ）

<https://www.tosyakyō.or.jp/public/shinpou/>

○社会保険新報 7月号 No.873（PDF ファイル 6.26MB）

<https://www.tosyakyō.or.jp/media/230703.pdf>

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 第39回がん検診のあり方に関する検討会（資料）

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_TdfBBBKXnwNgCBY

議事次第 [PDF 形式：84KB]

資料1 子宮頸がん検診へのHPV検査導入における論点整理 [PDF 形式：2.5MB]

資料2 超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験（J-START）の進捗状況について. [PDF 形式：2.7MB]

参考資料1 構成員名簿 [PDF 形式：125KB]

参考資料2 開催要綱 [PDF 形式：131KB]

参考資料3 厚生労働科学研究費「がん検診の利益・不利益の適切な情報提供の方法の確立に資する研究」班作成資料一覧 [PDF 形式：263KB]

参考資料3-1 研究班ホームページの概要 [PDF 形式：1.8MB]

参考資料3-2 WHO 資料翻訳書1 抜粋 [PDF 形式：572KB]

参考資料3-3 WHO 資料翻訳書2 抜粋 [PDF 形式：459KB]

参考資料3-4 WHO 資料を基にしたE-ラーニング資料 スクリプト入り抜粋版 [PDF 形式：8.5MB]

参考資料3-5 検診対象者向けE-ラーニング資料（動画）スクリプト入り抜粋版 [PDF 形式：2.2MB]

参考資料3-6 参考資料3-4の資料を基にした検診対象者向けリーフレット [PDF 形式：1.6MB]

参考資料4 がん検診 Shared Decision Making(SDM)運用マニュアル 2022年度版 [PDF 形式：2.7MB]

参考資料5 がん検診受診率の推移 [PDF 形式：260KB]

参考資料6 がん検診国際比較 [PDF 形式：511KB]

(2) 新しい時代の働き方に関する研究会 第 12 回資料

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7Sf64TsTJpcMV_BY

(3) 監督指導による賃金不払残業の是正結果（令和 4 年）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7SeRzWJ6NP0rKPBX>

◇ J I L P T から

(1) 専門実践教育訓練、129 講座を新規指定／厚労省

厚生労働省は 4 日、教育訓練給付の対象となる「専門実践教育訓練」の 2023 年 10 月 1 日付の新規の指定講座を公表した。デジタル技術の進展を踏まえたニーズに応じた人材育成を行う第四次産業革命スキル習得講座や、介護福祉士、看護師などの資格取得を目標とする養成課程など計 129 講座。

同給付は、中長期的なキャリア形成に資するものとして厚生労働大臣が指定する講座を受講した場合、費用の 50%（年間上限 40 万円）を支給するもの。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34593.html

(2) 特定一般教育訓練、44 講座を新規指定／厚労省

厚生労働省は 4 日、教育訓練給付の対象となる「特定一般教育訓練」の 2023 年 10 月 1 日付の指定講座を公表した。今回、新規に指定する講座は、特定行為研修、介護初任者研修などの業務独占資格等の取得を目標とする課程など計 44 講座。

同給付は、速やかな再就職と早期のキャリア形成に資するものとして、厚生労働大臣が指定する講座を受講した場合、受講費用の 40%（上限 20 万円）を支給するもの。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34592.html

(3) テレワーク実施率は過去最低の 15.5%、大企業で大幅低下／民間調査

日本生産性本部は 7 日、第 13 回「働く人の意識に関する調査」結果を発表した。同調査は 2020 年 5 月以降、四半期毎に個人を対象に実施し、今回はコロナが「5 類」移行してから 2 カ月が経過した 7 月に実施したもの。テレワークの実施率は 15.5%と過去最低となり、企業規模別では、1,001 名以上の大企業での実施率低下（34.0%→22.7%）が大きかった。今後もテレワークを行いたいと考える人は、前回(1 月調査)の 84.9%から 86.4%へ増加。

同日発表した「テレワークに関する意識調査」結果によると、管理職の 76.1%が部下のテレワークでの仕事ぶりに「満足」しており、77.5%が、労務管理の留意点として「仕事の成果を適切に評価できているか」を挙げている。

（第 13 回 働く人の意識に関する調査）

<https://www.jpc-net.jp/research/detail/006527.html>

（テレワークに関する意識調査）

<https://www.jpc-net.jp/research/detail/006528.html>

(4) シンポジウム「今、改めて“心理的安全性”を考える」健康いきいき職場づくりフォーラム

「健康いきいき職場づくりフォーラム」（事務局：日本生産性本部）は9月6日（水）、特別シンポジウム「今、改めて“心理的安全性”を考える」を会場（千代田区）とオンラインで開催する。昨今注目を集める心理的安全性の概念や取り組む意義、働きかけの具体策などについて、理論・実践の両面から迫る。参加費 5,500 円。会場定員 30 名。

<https://www.ikiiki-wp.jp/eventseminar/tabid/74/Default.aspx?itemid=208&dispmid=418>

◇ 第 23 回日本外来精神医療学会参加登録開始のお知らせ

<https://www.jaaps.jp/index.html>

大会テーマ：セルフケア支援と精神医療－「病い」と「学び」－

大会長：田中希実子（東京産業保健総合支援センター）

開催日：2023 年 11 月 5 日（日）

会 場：三鷹産業プラザ 7 階（東京都三鷹市下連雀 3-38-4）

7 月 1 日から参加登録が開始されましたので、是非、参加を検討ください。

日本産業看護学会会員は、参加＋抄録集が 3000 円となります

講演・シンポジウムとともに、「身体の使い方：みんなで学ぶ身体技法」の体験会も開催されます詳しくは、下記 HP を参照ください

<https://jaaps23.jpn.org/index.html>

◇ 【From_M】 から 情報提供有難うございます

■■■ 労災疾病臨床研究事業費補助金研究 ■■■

◆CO 中毒による高次脳機能障害患者の経年変化や環境変化に対応した
包括的リハビリテーション・支援モデルに関する研究

令和 4 年度成果

令和 4 年度労災疾病臨床研究事業費補助金研究報告書（概要） [136KB] R5.7.21 掲載

<https://www.mhlw.go.jp/content/001114373.pdf>

令和 4 年度労災疾病臨床研究事業費補助金研究報告書 [11.4MB] R5.7.21 掲載

<https://www.mhlw.go.jp/content/001114374.pdf>

◆厚生労働科学研究の成果のまとめ（令和 4 年度）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/001120345.pdf>

◆国家公務員の「週休 3 日」導入を勧告 総労働時間は維持 人事院

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230807/k10014155551000.html>

国家公務員のなり手不足が課題となる中、人事院は「週休 3 日」の働き方を可能とするよう、内閣と国会に勧告しました。休みを取った分は、ほかの勤務日に働く時間を長くすることで、総労働時間は維持するという事です。

◆職場で始める 感染症対応力向上プロジェクト | 東京都

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/08/02/01.html>

https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/08/02/documents/01_01.pdf

令和 5 年 9 月以降（講演動画は、以下のとおり順次配信予定です。）

回数 講演者及びタイトル

第 1 回 「(仮)総論（職場における感染症対策と最新情報）」

（東京医科大学病院特任教授 渡航者医療センター部長 濱田篤郎氏）

第 2 回 「(仮)ワクチンで防げる感染症 風しん・麻しんは大人でも罹る場合があります」

（神奈川県衛生研究所所長 多屋馨子氏）

第 3 回 「(仮) 職場におけるコロナ後遺症の対応」

（産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター講師 五十嵐侑氏）

第 4 回 「(仮) 感染症や健康不安に対する職場のメンタルケア」

（ヘルスデザイン株式会社産業医・労働衛生コンサルタント 坂本宣明氏）

第 5 回 「(仮) 感染症や健康不安を払拭するポジティブメンタルヘルス」

（社会保険労務士法人中村・中辻事務所代表社員 中辻めぐみ氏）

◆公益社団法人日本精神神経科診療所協会

2023 年度 第 29 回（通算 50 回）学術研究会

<https://med-gakkai.jp/29japc/>

テーマ：日精診創立 50 周年を機に外来精神医療の更なる展開を願って

～日精診に新たな「学会」設立を目指して～

会 期：現地開催：2023 年 9 月 23 日（土・祝）・24 日（日）

オンデマンド配信：2023 年 10 月 10 日（火）～2023 年 11 月 10 日（金）

開催方法：現地開催 + オンデマンド配信（ライブ配信はありません）

会 場：一橋講堂 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

Tel：03-4212-3900 Fax：03-4212-3910

◆公益社団法人日本精神神経科診療所協会 2023 年度 第 29 回（通算 50 回）学術研究会

<https://med-gakkai.jp/29japc/pro/>

産業医研修会シンポジウム

「最近の職場休復職対応をめぐって-医療・行政・法務の視点から」

2023 年 9 月 23 日（土・祝）14：30-17：30 第 1 会場（2F 一橋講堂）

座長：高野 知樹（神田東クリニック） 田中 和秀（ひつじクリニック）

基調講演：渡辺 洋一郎（横山・渡辺クリニック/日本 CHR コンサルティング）

シンポジスト：中山 篤（中山労務安全衛生管理事務所）

田中 和秀（ひつじクリニック）

吉田 肇（弁護士法人天満法律事務所）

有馬 秀晃（品川駅前メンタルクリニック）

企画：産業メンタルヘルス関連委員会

◆第2回 産業歯科保健部会研修会 <対面のみの研修>

<https://jsoh-kinki.jp/kinki-004/>

大阪大学 大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学講座 教授 阪井丘芳先生のご講演

「職場における口からの健康管理と感染予防

～刺激が少なく身体に優しい除菌消臭剤 MA-T とは？～」

日 時：2023年9月10日（日）10：00?11：30

場 所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

◆シンポジウム「治療と仕事の両立支援」開催報告 | 連合北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8168>

シンポジウム「治療と仕事の両立支援」

—病気になっても働き続けられる職場づくりを目指して— 開催報告

連合北海道は7月26日、シンポジウム「治療と仕事の両立支援」を開催し、構成組織、地域協議会をはじめ経済団体や一般市民、マスコミ等から約270名が参加した。

（※なお、連合北海道は本シンポジウムの報告書を10月末までに発行する予定です）

◆「ジェンダー平等」で働きたくなる職場をつくる5つのポイントとは

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1aa77fb959cdf0564750eb073b3b767c85c1bcaa?page=1>

「Great Place To Work® Institute Japan」代表の荒川陽子氏の著書『働きたくなる職場のつくり方』（かんき出版）から一部を抜粋・編集したもの。

- (1)ジェンダーにかかわらず働きがいが高い
- (2)女性管理職比率が、採用時の男女比率と遜（そん）色ない
- (3)ライフとワークのバランスをとれるユニークな制度がある
- (4)一般的には「女性のための施策」とされるものが性別を限定せずに実施されている
- (5)若いうちから責任ある仕事、ポジションを与えられている

◆がん対策推進基本計画のロジックモデルについて

健が発 0809 第1号令和5年8月9日

[http://www.toyama.med.or.jp/wp/wp-](http://www.toyama.med.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/oshirase_iryokikanken2_911.pdf)

[content/uploads/2023/08/oshirase_iryokikanken2_911.pdf](http://www.toyama.med.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/08/oshirase_iryokikanken2_911.pdf)

◆【がん予防の経済効果】がんのリスク要因を減らして1兆円超の経済的負担を軽減生活スタイルや環境の改善が重要

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/news/2023/012423.php>

○日本人における予防可能ながんによる経済的負担は1兆円超え（推計）

適切な対策により経済的負担の軽減が期待される

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2023/0802/index.html

◆連休中に糖尿病の管理を乱しやすい「6つの対策」で上手に乗り切る

<https://dm-net.co.jp/calendar/2023/037760.php>

- 1 連休にどう過ごすか計画を練る
- 2 生活リズムを乱さないようにする
- 3 食べすぎたカロリーを燃焼するのは大変
- 4 自分が何を食べたいのかを考えよう
- 5 食物繊維を十分にとる 糖質をとりすぎない
- 6 運動を続ける

◆精神障害者雇用を一步先へ

～企業現場にできる配慮の在り方を追求する：パーソル総合研究所

<https://rc.persol-group.co.jp/thinktank/spe/seishin-koyou/>

今、障害者雇用の中でも、そのポテンシャルに企業の注目が集まる精神障害者の雇用。精神障害者の方に、企業でイキイキと活躍してもらうにはどうすればよいか。すべての人が働くことを通じて、幸せや生きがいを感じられる社会の実現に向けて、本プロジェクトでは、精神障害者の方の採用・定着・活躍に焦点を当て、調査や取材等を通して企業がでできる配慮の在り方を追求します。

◆専門家が指摘「上司が部下に寛容すぎてもパワハラだ」もちろん高い規律を求めても

パワハラに…「じゃあ何すりゃいいんだ！」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/553569181c3605d8dedf6d7cb00be85eb1dbd464>

「仕事のストレスが健康障害につながる」…

◆ジブリ新作『君たちはどう生きるか』情報解禁へ

劇場パンフレット、ついに 11 日発売決定

<https://www.47news.jp/9693421.html>

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com